

ワークショップ手法について

本日のパートナーシップ条例(仮称)策定委員会について、ワークショップ*にて進めます。

※ ワークショップとは…

近年、住民参加型による計画づくり等によく使われる手法で、何かのテーマについて、司会進行役の誘導のもと、参加者全員で意見を出し合いながら一つの成果を作っていく方法です。通常の会議と違って小人数での討議となるため、誰もが自由に発言できる環境を提供でき、その意見をもとに、グループとしての考え方が整理できるメリットがあります。

進行方法

自己紹介

- グループ内で自己紹介をする。



ポストイットを活用

- ポストイット1枚につき、一つの意見(事項)を記入する。
- 各自の意見を内容別に分類し、模造紙に貼る。
- グループ内での意見交換、まとめをする。



発表

- 参加者全員に模造紙を見せながら、グループの代表者が発表を行う。

本日のテーマ

次のテーマごとに、自由にご意見を記入してください。

- ① まちづくりに関する活動内容
- ② 課題・問題点
- ③ 今後 期待すること